

# 歯根端切除手術を受ける患者さんへ（手術説明・同意書）

年 月 日

患者氏名 \_\_\_\_\_

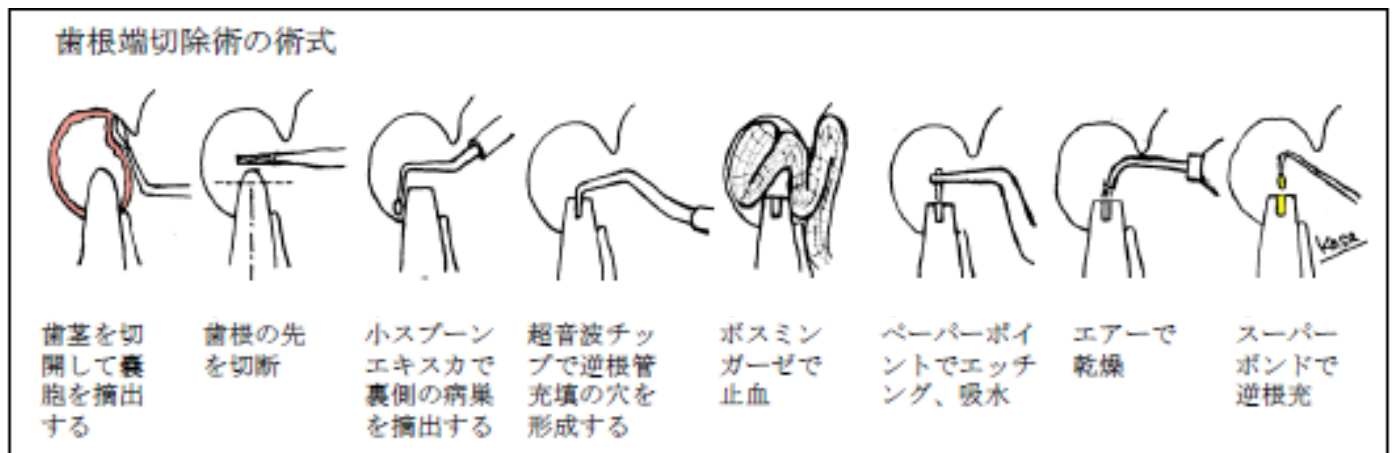
## 【歯根端切除手術とは】

歯根の先に病変（膿の袋）が生じ、歯茎に腫れや痛みが出た場合、根管治療（歯根の管の中の腐敗物や汚れた象牙質を除去し、消毒薬を入れる治療）を行う事で、ほとんどは治癒に向かいます。しかし、根管が閉鎖している、根管の金属ポストが除去出来ない等で、根管治療が出来ない場合や根管治療予後が不良の場合には、歯根の手術をする事で抜歯せず助ける事を目的としています。

適応症：根尖性歯周炎（Per） ・ 歯根嚢胞（WZ） ・ 歯根端手術の再発

## 【手術術式】

- ① 手術部位の消毒、局所麻酔を行います。  
麻酔が奏功した後に、歯茎を切開し、骨に小さな穴を開けて膿の袋を取り除きます。
- ② 同部をマイクロミラーで確認し、歯根周囲の観察をしっかりと行い、原因である歯根の端を1-2mm切断します。歯根の裏側にも病巣がないか確認し、摘出します。
- ③ 超音波チップで切断面根管に穴を形成した後、術野の止血を行い、創部を乾燥し、安全性の高い接着性セメント（スーパーボンド）を流し込み細菌の繁殖部を閉鎖します。
- ④ 接着性セメントの硬化を確認し、研磨を行い、創部洗浄した後に、歯茎を戻して縫合します。



## 【手術後におこりうる合併症や偶発症】

術後に、以下の症状がでる事がありますが、適切に処置をします

- 痛み** → 1～2日間あり、鎮痛剤を服用する事で収まります。
- 出血** → 手術当日と翌日は、手術部位からじわじわと出血があります。
- 唇・頬の腫れ** → 大きい歯根嚢胞を摘出手術した場合は3～7日間腫れます。
- 内出血** → 頬や唇下の皮膚に紫色や黄色のあざが出来る事が稀にあります。約1～2週間で自然に消失してきます。
- しびれ感** → 歯茎の切開部周囲に、麻酔が効いたようなしびれ感や違和感が残る事がありますが徐々に回復していきます。
- 感染** → 術後に感染を起こし、痛みや腫れを生じる事があります。術後に抗生剤を服用して頂きます。また病変が上顎洞に近接・交通している場合上顎洞炎のリスクがあります。

★【手術予後について・再発について】★

歯根亀裂や、歯周ポケットとの交通、歯根そのものが腐敗等があった場合、予後不良である事が多いです。また術後、しばらく後に亀裂や歯周ポケット形成を起こす可能性や、予後不良にて、残念ながら抜歯適応となってしまう可能性もあります。

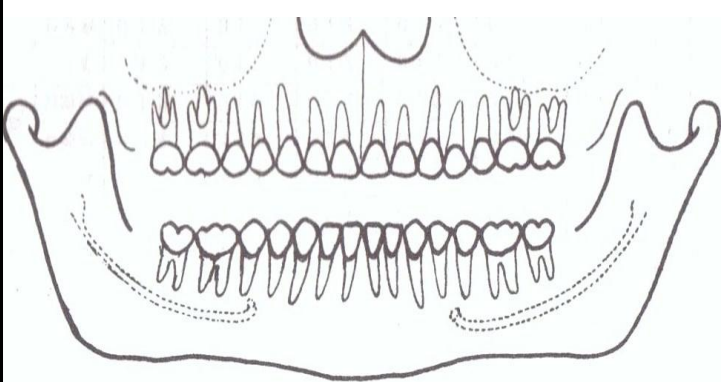
当院では十分検査やコンサルを行い、現在の病状やリスクなど説明し  
上記事項について患者さんの了承同意を得た上で、歯根端手術を行います。

【手術時間、費用】

手術時間：約1時間半～2時間

手術翌日に傷口の消毒、1週間後に抜糸、約1-2ヶ月後に経過観察。

術後1、2年、3年まで経過観察を行います。

<p>【現在の病状】</p>  <p>【診断名】</p> <p>【手術部位】</p>	<p>【検査項目】</p> <p><input type="checkbox"/> パントモ</p> <p><input type="checkbox"/> デンタル</p> <p><input type="checkbox"/> CT</p> <p>【基礎疾患】 あり・なし</p> <p>【服薬】</p>
--	--

【手術を行わない場合、他の治療法の選択肢等について】

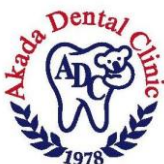
再根管治療 対処療法・経過観察 抜歯 など

現在の病状・適応・手術詳細・リスク（術後・再発について）等について説明を受け  
歯根端切除手術治療を受ける事に同意します。

年 月 日

担当主治医 \_\_\_\_\_

患者署名 \_\_\_\_\_



赤田歯科医院

〒194-0022 東京都町田市森野 2-3-10 ADCビル 3F・4F

TEL042-725-2636

<https://www.akadashika.com/>